



令和元年10月31日(土)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

11月号

キャリアパスポート・小中一貫教育

校長 河崎 晃二

本日は、体育発表会にご来校いただきありがとうございました。コロナ禍で制約された中での実施ではありましたが、この日のために一生懸命に取り組んできました。私は、子供たちがひたむきに取り組む姿を見て、胸が熱くなってしまいました。今日帰りましたら、ご覧になった感想をぜひ伝えてください。

*

さて、令和2年度より「キャリアパスポート」が、小・中・高を通じて「キャリア教育」の一環としてスタートしました。これからの子供たちは、自立し社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実践するための力が求められています。この視点に立って、日々教育活動を展開することがキャリア教育です。つまり、「自分でやりたいものや、やりたいことができるようになる力」を育む教育です。

その一つの取組として「キャリアパスポート」があります。この「キャリアパスポート」は、子供たちが小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について記入し、記録を保管するポートフォリオです。具体的には、「1学期に頑張ったこと」「行事を通して考えたこと」「将来になりたいもの」などを記入し、その記録を継続的に残していきます。

書き方や使い方は、文部科学省や練馬区教育委員会等から例示が示されていますが、各学校に任せられています。この「キャリアパスポート」の特徴は、小学校で終わらないことです。記録したファイルは、小学校から高等学校まで継続して使います。そして、自分で「振り返ること」と将来の「見通しをもつこと」を繰り返しながらキャリアを形成していきます。

この「キャリアパスポート」を作ることによって、子供たちは1年間を振り返りつつ「今、何を目標にしているのか」「何が一番好きなのか」「今年1年間で頑張ったこと」「これからやってみたいこと」「自分の思いを実現するためには何をすればよいのか」などを改めて考えていきます。そして、成長と共に「やりたいことややりたいものを実現するためには、今、そしてこれから何をすべきか」その過程を考えるようになります。

この「キャリアパスポート」は小・中・高を通じて利用し、たとえ引っ越しをして転校してもそのまま流用していきます。転校や進学等で学校が変わるときは、なくさないよう気を付けてください。また、教師や保護者の皆様からのコメントを「キャリアパスポート」に記入することになっています。12月の個人面談の時に、お子さんの「キャリアパスポート」を見ていただきますので、励ましの言葉を書いてください。よろしくお願いいたします。

*

それから、練馬区で推進している「小中一貫教育」の取組についてです。これもキャリア教育の一環としてもとらえられます。ただ、今年度はコロナ禍で、縮小して行っております。開進第四中・仲町小・開進第四小の3校で「互いを高め合いながら、自分の考えを表現しようとする児童・生徒の育成～小中9年間を見通した教育活動を通して～」を研究主題に掲げ、取り組んでいます。具体的には、この開進第四中校区における「目指す15歳の姿」を明確にすること。いじめや不登校等の防止となるような豊かな心の成長に向けた取組の実践及び研究です。3校で意見や情報を交換しながら進めています。残念ながら、児童・生徒が交流する活動は、全て中止となりましたが、来年度はできると信じて準備を進めています。